

世継ぎ祝い湯の儀篇

数ヶ月後

只今より
伝統にのっとり
この側女たちへ、

出産予定日

当日

「世継ぎ祝い湯の儀」

太陽系外惑星
チャンピオン離宮

執り行います

を



こんな服を
着せておいて
「伝統」じゃと……

おぞましい伝統が
あったもんで
ござんす……

当のわっちらには
何の儀式かの話も
ありません

……臨月に
なつてから

……仔が、
動きたびに

軽く、
イかれて……

何にせよ、
早く……

はやく
済んでくりやれ……

これ、以上……は……

狂って、しまいんす……



「世継ぎ祝い湯の儀」——

師匠が孕ませた雌が
臨月になった際、

兄弟子が犯し
弟子が赤子を
受け止める

迎え棒によって
赤子の分泌する媚薬は
最高潮に達し

母胎は出産の間、
常に絶頂し続ける
ことになる

愛液と共に吹き出す
出産の破水を

多く被れば被るだけ
幸にあやかれる
と、されている習わしである



おはよう

39
しゃい♡
あああ!

お妙

嫌だ

嫌だ

い、嫌だ

おは

おは

おは

うう



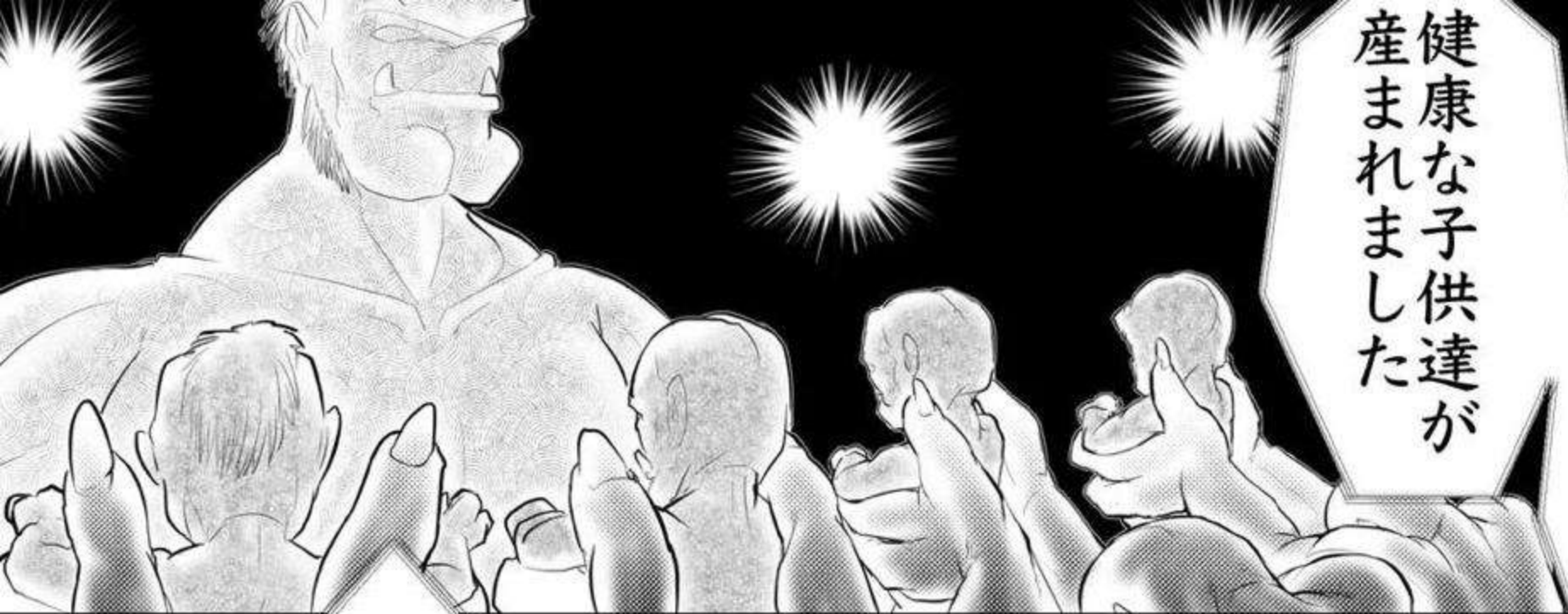




素晴らしいっ！

なんと素晴らしい
ことでしょうか

健康な子供達が
産まれました



さあ、
現^父チャンプとの対面を
終えた稚児達が

「祝い棒」から降りた
母親の元へ返されます



——さよなら、じやな



母でござんすよ...

地球産母胎・月詠

第一子、出産



見ての通りよ、と。
あやめは薄衣を脱ぎ捨てた

前にも増して豊満な身体と
なった経産婦の腹には、
ある刻印があつた

「6人目を……」

「そーよ。この間ね」

所有者たる天人が
子を孕み緩んだ下腹部に
産ませた子供の数を刻んでいるのだ



そういうツツキーは？と促され、
月詠は湯船から身を起こした

「え……なに、その紋……」

身籠った身体には、見たことのない紋様が
刻まれている

「十五人紋、だそうでござんす」

今も重たげに揺れる腹に、
その紋は二つあった

静かにそう告げると、
見守り女中に連れられて



月詠は

静かに

(変わり果てた自分を自虐するように)

後宮の奥へ

(変わり果てた親友に悲しげな笑顔をみせて)

戻っていった



快樂に屈服し、自ら求めるようになった月詠である。
天人好みに改造された身体は名器として名高く、
チャンピオン引退に伴って弟子達に
下げ渡された時から
夜毎別の弟子に抱かれたという。

(左)第45児を身籠った臨月の写真

常に誰かの子を孕んでいたとされるが、
それでも夜伽を求めるものは絶えなかった

